

平成27年度事業報告

1 総会・研究発表大会の開催

- (1) 日時 平成27年10月17日(土) 10:00～18:00
- (2) 場所 兵庫県立大学 神戸商科キャンパス(神戸市西区学園西町)
- (3) 総会 【議決事項】平成26年度事業報告及び収支決算報告
【報告事項】平成27年度事業計画及び収支予算、前年度受賞者等紹介
- (4) 研究発表大会

テーマ「自立的で持続的な地域社会の創造について」

人口減少の克服や東京圏一極集中の是正など地方創生の動きが本格化する中で、各地域において自立した活力ある社会の構築が求められている。

そこで、自立的で持続的な地域社会の創造に向けて、地域の元気づくりをどのように進めていくか、その課題と解決策について考えた。

①全体会

・基調講演

テーマ：コミュニティデザインによる地域の元気づくり

講師：山崎 亮

studio-L 代表、東北芸術工科大学教授(コミュニティデザイン学科長)、
慶応義塾大学特別招聘教授

②分科会・ワークショップ

・以下5分科会にて計23件の研究発表・意見交換

I 地域づくり

II 教育・福祉

III 産業

IV 防災

V 保健・環境

③交流会

④参加者 約200名

2 コラボレーション・プロジェクトの実施

県・市町職員、NPO・団体、企業、地域など様々な人々とのコラボレーション（協働）による研究・実践とネットワークづくりのために、会員等の自主的な企画・開催によるセミナー等の実施を支援した。

	主催・企画代表者等	内 容
第1回	<p>[主催] 笑顔をつなごう会</p> <p>[企画代表者] 山村 雅代 (フリーアナウンサー)</p> <p>[参加者] 62名 (行政職員、保育士、船坂地区住民等)</p>	<p>近年の我が国の子供を取り巻く環境が厳しさを増すなか、笑顔をつなごう会は、子を持つ親、地域で見守る者、そして教育に携わる者といった子供に関わる大人たちが様々な事例を学び、学びを通じてつながり、つながりの中から新しい一歩を踏み出すことができるよう、保育現場を紹介する映画上映、保育所代表者の講演及びワークショップを開催した。</p> <p>この活動を通じて、子供達の未来のために、それぞれの立場で実践していくべきことを探るとともに、参加者間の交流を図ることができた。</p> <p>日 時：平成27年4月5日（日）13:00～15:45 場 所：船坂小学校跡施設（西宮市山口町船坂） テーマ：～いのちの根っこを輝かせるこどもたち～ [プログラム] 映画上映：長編ドキュメンタリー「こどもこそミライ」 講演：「いのちの根っこを輝かせるこどもたち！！」 中島久美子（森のようちえん ピッコロ代表） ワークショップ：「笑顔サクラ」タペストリー作成</p>
第2回	<p>[主催] ひょうごまちづくり棚卸し交流会実行委員会</p> <p>[企画代表者] 小嶋 明</p> <p>[参加者] 58名 (行政職員、市町議会議員、地域団体等)</p>	<p>「地方消滅」が取り沙汰されるなか、地道にまちづくりに励んでいる地域や人々は少なくない。ひょうごまちづくり棚卸し交流会実行委員会では、「私たちのまちづくりの棚卸しからの地域創生を！」をテーマとして、地域包括ケアシステムに係る基調講演やグループ討議を実施した。</p> <p>この活動により、参加者一人一人が互いのミッションや課題を学び、それらを共有することで、協働の輪を広げることができた。</p> <p>日 時：平成28年3月5日（土）13:00～17:00 場 所：多可町中区中村町コミュニティセンター多目的ホール テーマ：～私たちのまちづくりの棚卸しから地域創生を！～ [プログラム] 基調講演：地域包括ケアシステムの構築 松浦尊磨（多可赤十字病院院長） グループ討議：「福祉」、「地域おこし」、「つなぐ(メディア・交通)」をテーマとしたグループ討議 ファシリテーター 東末真紀(シチズンシップ共育企画(運営委員))</p>

	主催・企画代表者等	内 容
		<p>奥河洋介(淀川区まちづくりセンター(アドバイザー)) パネリスト 足立宣孝(F M805 たんば理事長) 井上憲三(宍粟市一宮市民局副局長) 江坂道雄(篠山市大芋活性化協議会会長) 加藤貴之・菜穂子(朝来市生野町担当地域おこし協力隊員) 藤井康男(多可町中村町区長) 眞弓憲吾(前神河町かみかわ田舎暮らし推進協会事務局) コメンテーター 清原桂子(神戸学院大学現代社会学部教授)</p>

3 グループ研究応援事業

会員等の交流や自律的な活動を促進し、会員の政策形成能力の向上と県及び市町の政策形成活動の助長を図るため、会員等が自主的に行う県・市町や地域の行政課題に関する研究活動を支援している。

認定 時期	グループの名称 代表者・構成員	研究期間	研究テーマ及び研究内容
平成 28年 2月	青少年と科学技術 を楽しむ会 代表者：永井暉久 構成員：8名	平成28年4月 ～平成29年6月 (15ヶ月)	<p>青少年を対象とした「電子工作教室」について ～地域ニーズと開催結果の一考察</p> <p>青少年の理科離れやものづくり離れと言われて久しい。現状は科学技術立国の危機といえる。このため、青少年対象に「電子工作教室」を開催したところ、これまで手作りの機会がなかっただけで科学や技術には興味を持っているという手応えを得た。</p> <p>そこで、青少年に対して科学技術への興味を高めもらうために研究会を立ち上げ、行事を交通の便の良い都市部で開催してきた。</p> <p>こうしたなか、広く地方の青少年に対して科学技術への興味を喚起するため、次の研究を行う。研究後は、その成果を踏まえ、今後の活動を進めていく。</p> <p>○研究内容</p> <p>①地域別（都市部・地方）においてどのようなニーズがあるか</p> <p>②ニーズを捉えた開催方法の考察</p>

4 兵庫自治学会セミナー

今年度は、全国的課題である「地域創生」をテーマとして開催した。

	開催日・場所等	内 容
第1回	<p>平成27年7月16日 (木) 13:30~16:30</p> <p>ラッセホール サンフラワー (神戸市)</p> <p>参加者 70名</p>	<p>兵庫県では、「人口対策」と「地域の元気づくり」を柱とする地域創生の戦略の策定を進めており、県民及び市町等とともに地域の個性と特色を最大限に生かしながら、安全で元気なふるさと兵庫の実現を目指している。</p> <p>そこで、兵庫自治学会の会員をはじめ、地域創生に関心をもつ各界・各層の県民や県及び市町の職員に対し、地域創生を推進する上で参考となる研究成果や先進事例等を紹介し理解を深めた。</p> <p>■報 告：「兵庫県における地域創生の推進」 早金 孝兵庫県企画県民部地域創生局長 先進事例報告 「養父市における地域創生の取り組み」 藤山 健人養父市国家戦略特区・地方創生担当部長</p> <p>■特別講演：「世界と日本の創造都市」 佐々木 雅幸 同志社大学経済学部特別客員教授・文化庁分化芸術創造都市振興室長</p>
第2回	<p>平成27年12月14日 (月) 13:30~16:30</p> <p>兵庫県私学会館 大ホール (神戸市)</p> <p>参加者 93名</p>	<p>現在、各自治体においては、地域創生に向けた「総合戦略」と「人口ビジョン」づくりの佳境を迎え、今後は、地域創生戦略をいかに進めていくかが課題となる。</p> <p>そこで、兵庫自治学会の会員をはじめ、地域創生に関心をもつ各界・各層の県民や県及び市町の職員を対象に、地域創生を推進する上で参考となる取組事例の報告と報告者によるパネルディスカッションを行い議論を深めた。</p> <p>■報 告 「“観光”づくり事例」 金井 啓修有馬温泉「陶泉 御所坊」社長 「移住者受け入れ40年の歴史から見えるもの」 原 和男那智勝浦町色川地域振興推進委員会会長 「大和伝統野菜を六次化の地域づくり～プロジェクト粟の事例から」 三浦 雅之株式会社粟代表取締役社長</p> <p>■パネルディスカッション パネリスト 金井 啓修氏・原 和男氏・三浦 雅之氏 コーディネーター 畑 正夫兵庫県立大学地域創造機構教授</p>

5 全米公共・行政学会（ASPA）との交流の推進

交流をサポートする翻訳ボランティアスタッフを中心に、「相互交流にかかる基本協定」に基づき、交流を推進した。

(1) ホームページ上での情報交換・提供

全米公共・行政学会の月刊新聞に掲載されている記事を学会誌「兵庫自治学」に和訳掲載するとともに、当学会の組織・活動を英訳して ASPA 向けページに掲載

(2) 人の交流に係る便宜供与

ASPA 全国大会（平成 28 年 3 月 18～22 日）に会員 4 名を派遣（発表 1 名、参加 3 名）

(3) 交流会の開催

エバーグリーン支部役員の来神（平成 27 年 9 月 2 日）時に意見交換会を実施

6 学会誌の発行等

(1) 学会誌「兵庫自治学第 22 号」の発行

① 時期 平成 28 年 3 月

② 内容 平成 27 年度研究発表大会全体会講演・分科会優秀発表者論文、コラボレーション・プロジェクト実施報告、グループ研究成果報告、全米公共・行政学会月刊誌記事和訳等

(2) 会報「P o l i c y」の発行（年 3 回）

時期及び内容 ・ 9 月 （研究発表大会のお知らせ等）

・ 12 月 （優秀発表者の紹介等）

・ 3 月 （次回研究発表大会発表者募集等）

(3) メールマガジンの発行

学会事業、会員主催事業、その他事業の情報等を、年 8 回配信

(4) ホームページの維持管理

学会のホームページを運営し、研究活動等タイムリーな情報発信に努めた。